

# R314SB

T-FHSS-2.4GHz 方式  
双方向通信 S.BUS 2  
4 チャンネル受信機

## 取扱説明書

### 動作モード切替時の注意

※ R314SB は電源を入れた時点で送信機の設定が、ハイスピード (HIGH) またはノーマル (NORM) モードの判別をし、電源を切るまではそのモードで動作します。送信機のモードを変更した場合は、送信機電源を入れ直した時点で動作可能となります。

この度は、T-FHSS-2.4GHz 方式、4 チャンネル受信機 R314SB をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本書ならびにご使用の送信機の取扱説明書をお読みの上、正しく安全にお使いください。また、お読みになられた後も大切に保管してください。

この受信機は弊社 T-FHSS 方式対応の送信機と組み合わせてのみ使用できます。送信機側の設定により、ハイスピードモード (高速応答動作) / ノーマルモードを選択できます。ただし、ハイスピードモード時は、デジタルサーボ (ブラシレスサーボを含む) 専用となります。ノーマルモード時は、アナログサーボおよびデジタルサーボが使用可能です。

R314SB は、双方向通信に対応しています。走行中の受信機の電源電圧を送信機で確認できる他、別売のテレメトリーセンサーを接続することにより車体の温度、回転数などのデータを送信機に送ることができます。

●この R314SB は Futaba 製 2.4GHz T-FHSS システム送信機のみに対応します。

※ Futaba T-FHSS システムは、Futaba S-FHSS, FHSS, FASSTest, FASST システムの送信機との組み合わせでは動作できません。

### コネクター

- "4" : CH4 サーボ / (電源)
- "3" : CH3 サーボ / (電源)
- "2" : スロットルサーボ / (電源)
- "1" : ステアリングサーボ / (電源)
- "S.BUS2" : テレメトリーセンサー / (電源)

### 電源コネクター

電源は空いているコネクター 1 つに接続します。どのコネクターでもかまいません。すべて使用している場合、フタマタコードで接続してください。

LED リンクスイッチ



## 受信機に ID を読み込ませる方法 (リンク操作)

下記の操作により、送信機の ID 番号が受信機に読み込まれます。この ID 番号の識別により、2.4GHz システムは他の送信機からの信号を受け付けません。

この読み込み操作は最初の 1 回だけです。次回からは送信機、受信機の順番に電源を ON にし、受信機の LED が緑点灯すればそのまま使用可能です。

### リンク操作

- 1 送信機と受信機を 50cm 以内に近づけます。  
※ アンテナ同士をできるだけ近づけます。
- 2 送信機 / 受信機の電源を ON。
- 3 送信機を送信機の取扱説明書にしたがってリンクモードにします。
- 4 受信機のリンクスイッチを約 2 秒押しします。LED が赤点滅 → 緑赤 → 赤点灯となり送信機画面に受信機の ID が表示されます。送信機に工

ラー画面が出た場合リンクが失敗しています。再度リンクさせてください。

- 5 送信機の電源を OFF → ON してください。そして受信機の LED が緑に点灯すれば OK です。

※ リンク操作時、周囲で他の T-FHSS-2.4GHz システムがリンク操作されている場合、それらの送信機の中の 1 台とリンクしてしまう場合があります。このため、リンク操作が完了したら、必ず動作を確認してください。

### 受信機 LED の状態表示

信号が受信されていない状態	赤点灯
受信状態 OK (ID 設定完了)	緑点灯
自動復旧できない異常 (EEPROM 異常、その他) 電源再投入で回復できない場合は弊社カスタマーサービスへ点検・修理依頼してください。	赤 / 緑交互点灯

### 警告

⊘ リンク操作時は動力用モーターが接続された状態やエンジンがかかった状態では行わないでください。

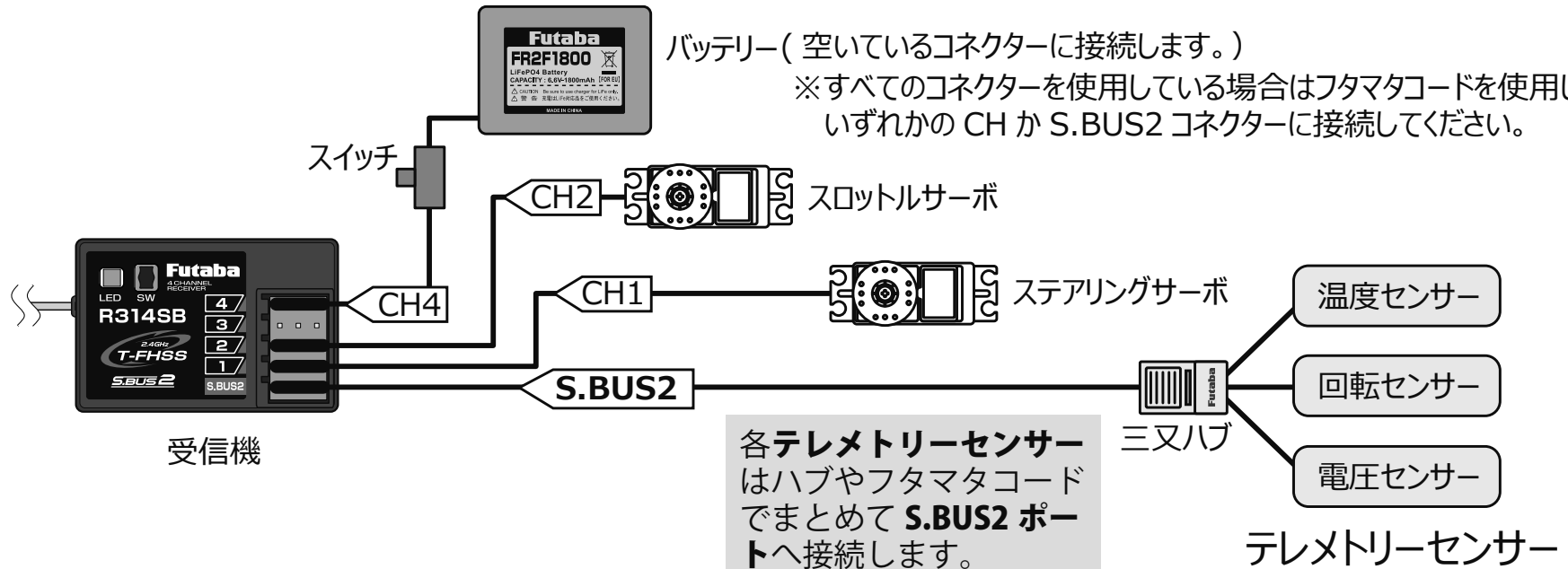
■ 不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がったりすると大変危険です。

! リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を OFF とし、リンクした送信機で操作ができることを確認してください。

本製品は、特定無線設備の技術基準適合証明を取得しています。

- ・証明ラベルを剥がさないでください。
- ・分解して修理・変更・改造しないでください。
- ・証明ラベルを剥がしたり、お客様が修理・変更・改造したものは不法無線局として法律により罰せられることがあります。

## 配線接続例



### ⚠ 注意

❗ R314SBは必ず下記条件で使用して下さい。

- 受信機使用電源：4.8V～7.4Vの範囲で接続するサーボの規格にあわせる。(乾電池は使用不可)
- 送信機のRXタイプ設定：T-FHSS (HIGH / NORM)
- 防振対策および防水対策を十分におこなう。

### ハイスピードモード時の注意

### ⚠ 注意

❗ ハイスピードモード時、弊社デジタルサーボ専用となります。

- アナログサーボを使用するとサーボや受信機の故障の原因となります。
- ※弊社製以外のEPアンプをご使用の場合、ハイスピードモードで動作しない場合があります。この場合は、ノーマルモードに切り替えてご使用ください。

### R314SB仕様

(T-FHSS-2.4GHz方式、4チャンネル受信機)

受信周波数	: 2.4GHz帯
システム	: T-FHSSシステム ノーマル/ハイスピードモード(自動認識)
	S.BUS2対応
使用電源	: 規格電圧4.8V～7.4V(使用可能電圧範囲: 3.5V～8.4V)
F/S機能・バッテリー	: 各チャンネルに送信機にて設定可能
F/S機能	
バッテリー F/S電圧	: 送信機にて設定可能
サイズ	: 35.1x23.2x8.5mm(突起部を除く)
重量	: 6.6g

※ BEC電源を使用する場合、容量がご使用のサーボ等の条件に合っていることが必要です。また、乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

双葉電子工業株式会社 電子機器営業部 TEL.(0475)32-6981  
 〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚1080

©FUTABA CORPORATION 2016年8月 初版